

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名：DXによる消防団活動基盤整備事業（消防団組織の活性化・女性活躍推進）

自治体名

仙台市

消防団名

仙台市消防団

1 事業の目的

消防団アプリの導入により、災害時の迅速な情報共有体制を強化するとともに、日常の連絡・参加確認・事務処理の効率化を図り、団員が活動しやすい環境を整備することを目的とする。

2 事業内容

本事業は、消防団における連絡調整・情報共有・庶務事務の効率化を図るため、消防団向けアプリを導入し、団員の活動環境を改善することを目的として実施した。

アプリの操作方法の理解促進を図るため、分団単位での説明会を開催し、団員が実際に操作を体験できる場を設けた。説明会では、参集連絡、訓練・会議の参加確認、報酬請求に関する機能など、日常的に使用する機能について重点的に説明を行った。

併せて、導入後の運用を円滑に進めるため、分団長等の管理者に対し、グループ管理や出勤情報配信などの管理機能に関する研修も実施。これらの取り組みにより、団員がアプリを利用する基礎環境を整備するとともに、災害時の迅速な情報伝達と、平常時の事務負担軽減につながる運用体制の構築を進めたものである。

3 事業成果

説明会の開催回数は、当初目標（8回以上）を達成できた。

予定していた説明会は、団員の業務都合や会場調整の制約がある中でも、計9回を確実に実施することができた。また、説明会参加者数は延べ248名に達し、多様な分団から参加が得られたことが成果である。

団員のICTリテラシーに関する事前の懸念について、説明会での操作体験を通じて、想定していたよりも軽減された。体験の場では、「思っていたより操作が簡単で使いやすい」「これなら参集連絡がスムーズにできる」といった肯定的な意見が多く寄せられ、アプリ利用への心理的な抵抗が低下したことが確認できた。

今後の本格運用の開始に向けて、すべての団員がアプリを登録し、頻繁に利用することにより、団員間の情報共有と事務負担の軽減を図る予定である。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	8回以上	9回	
団員へのヒアリング	回数	1回以上	1回	
団員の意見反映	件数	3件以上	集約後反映	

